

第24号

南部箕蚊屋広域連合



まめ・カフェ通信

～第24回まめ・カフェ開催報告～

令和7年9月18日（木） 18:30～20:00

伯耆町農村環境改善センター 多目的ホール

参加者 22名（参加者 17名、スタッフ 5名）

（薬剤師、看護師、保健師、作業療法士、社会福祉士、
介護福祉士、介護支援専門員、その他）

講演

「母を介護するようになって思う事」 「私の介護体験」
～男性介護者の立場から～

講師 公益社団法人 認知症の人と家族の会 鳥取県支部
男性介護者ネットワーク鳥取県
男性介護者 板持 正巳氏 亀尾 栄司氏

《参加者の感想》

- 直接、男性介護者の方との話ができて、意見、想いも話して頂いてありがたかったです。自分の父母にもこの事は話そうと思います。そして、一人で悩まず相談する所があることを伝えたいと思います。
- 男性介護者の経験を聞き、思いや繋がりの大切さを学びました。介護の方法は様々ではあるが、その家族にとって何が大切か一緒に考えるような関係を作っていきたいと思います。
- 男性介護者の方は抱え込んでしまわれる方も多く、今日の話聞いて、受け入れる事と抱え込まない事の大切さを感じました。本人や介護者が何に悩んでいるのか、何を必要としているのかをしっかりと聞いていきたいと思います。

まめ・カフェとは??

医療や介護、地域に関わる私たちの仕事ってまめでなければつとまらない。

「まめなかや?（元気ですか）」と、こまめな声かけが関係づくりの第一歩!…多職種が気軽に集ってまめに話せる場所が欲しい☆という声からできたのが、

まめ・カフェです♪

第24回のまめ・カフェは、講師に「認知症の人と家族の会」の板持正巳氏と亀尾栄司氏をお招きし、男性介護者としての体験をお話頂きました。お1人は、お母様の介護について、日々の介護の大変さや工夫を率直に伝えて下さり、もうお1人は、奥様の介護について、介護を1人で抱えこまず、仲間やサービスに支えられながら暮らしていく姿勢を示してくださいました。又、お2人とも「家族の会」や「オレンジカフェ」の存在が大きな支えになっていると語られ、参加者の皆さんにとっても「体験を共有できる居場所」の大切さを改めて考える良い機会となった事と思います。



男性介護者は孤立しやすい傾向にある中、介護者や認知症の方を地域全体でサポートできる体制づくりに向けて今後も共に連携していきましょう!

✿ アンケート結果の一部をご紹介させていただきました。

ご協力ありがとうございました。次回も、皆さまのご参加をお待ちしております!

発行/南部箕蚊屋広域連合

Tel : 0859-39-6222

Fax : 0859-39-6223